



第23回（2023年度）



九州保健福祉大学公開講座 募集要項

今年度の公開講座タイトルは、「大学からの情報発信2023～薬学部から地域の方々へ～」です。九州保健福祉大学は、設立以来、地域の皆さまと共に歩み、公開講座も今年度で23年目（23回）を迎えました。この間、大学では地域交流、研究、学生教育等に鋭意に取り組んでまいりました。今後も、大学内の知的財産、各学部・学科における研究内容等を地域の方々にもっと知って頂き、地域との交流を更に深めていきたいと思っております。
今年度は、「薬学部からの情報発信」です。

受講して
みませんか？

～ 日 程 ～

<7月22日(土)午前10時～10時20分>

公開講座開講式

<7月22日(土)午前10時20分～12時>

① 免疫機構の役割～病気やワクチンについて

講師 木村 博昭（薬学部薬学科教授）

<8月26日(土)午前10時～12時>

② 下剤の作用機序について

講師 長野 貴之（薬学部薬学科講師）

<9月30日(土)午前10時～12時>

③ 動物とヒトの感染症

講師 松葉 隆司（薬学部動物生命薬科学科教授）

<10月21日(土)午前10時～12時>

④ 緑茶飲用の健康効果と、薬の飲み合わせについて

講師 園田 純一郎（薬学部薬学科准教授）

<11月25日(土)午前10時～12時>

⑤ 宮崎県北の山と生息する野生動物について

講師 宮内 亜宜（薬学部動物生命薬科学科講師）

<12月16日(土)午前10時～11時30分>

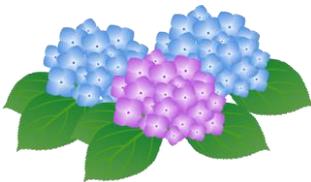
⑥ 知っておきたい腎臓病のこと

～新たな国民病「CKD:慢性腎臓病」～

講師 戸井田 達典（薬学部薬学科准教授）

<12月16日(土)午前11時30分～12時>

公開講座修了式



～講師概要～

<7月22日(土) 午前10時20分～12時> 【免疫機構の役割 ～病気やワクチンについて】

講師：木村 博昭 (きむら ひろあき) 薬学部薬学科 教授

新型コロナの流行によって、ヒトの免疫機構(自分の体を病原体から護るシステム)が重要であることが改めて一般の人に理解されました。この講義では、免疫の仕組みとワクチンや病気における免疫機構の役割について、なるべく簡単な用語を用いて解説します。ワクチンについては、新型コロナワクチンを含めて、病気については、がんやメタボなども例に挙げ、自分自身の研究内容も含めて説明させていただきます。

<8月26日(土) 午前10時～12時> 【下剤の作用機序について】

講師：長野 貴之 (ながの たかゆき) 薬学部薬学科 講師

近年新しい下剤が次々と開発され上市されてきております。下剤を処方され服用している方も多いと思います。様々な下剤がどのように働き瀉下作用を引き起こしているのかを説明いたします。

<9月30日(土) 午前10時～12時> 【動物とヒトの感染症】

講師：松葉 隆司 (まつば たかし) 薬学部 動物生命薬科学科 教授

感染症をおこす病原体は、微生物(細菌、真菌、ウイルス)、寄生虫、プリオン(感染性タンパク)と様々で、ヒトや特定の動物にのみ病気をおこすものや、動物由来でヒトに、あるいはヒト由来で動物に病気をおこすことがあります。私たちの日常生活にも大きく関わる感染症と病原体について、対策を交えてお話します。

<10月21日(土) 午前10時～12時> 【緑茶飲用の健康効果と、薬の飲み合わせについて】

講師：園田 純一郎 (そのだ じゅんいちろう) 薬学部 薬学科 准教授

日本における茶の伝来は、唐の時代に日本から渡った僧侶によってもたらされたといわれています。鎌倉時代には、臨済宗の開祖栄西によって、礼式としての茶の湯の文化も持ち帰り、日本独自の分化と融合して発展しました。栄西は「喫茶養生記」を記し、茶を喫することによる健康へのメリットが具体的に紹介されました。今回は、緑茶飲用の健康効果のエビデンスについて、近年行われた疫学研究などからご紹介します。また、緑茶飲用と薬の飲み合わせについて、我々の行っている研究についてもご紹介させていただきます。

<11月25日(土) 午前10時～12時> 【宮崎県北の山と生息する野生動物について】

講師：宮内 亜宜 (みやうち あき) 薬学部 動物生命薬科学科 講師

延岡市がある宮崎県北部は、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークに認定されており、奥深い山々と希少な野生動物が生息する地域となっています。行滕山や祖母山のような気軽に楽しめる山から大崩山のように困難な登山を強いられる山もあります。また、クライミングに適した岩山、水のキレイな沢、アイスクライミングを楽しめる溪谷など、魅力的な所がたくさんあります。今回は宮崎県北の山の魅力や登山方法、生息する野生動物の紹介と、近年生息数が減っているニホンカモシカの現状についてお話いたします。

<12月16日(土) 午前10時～11時30分> 【知っておきたい腎臓病のこと ～新たな国民病「CKD：慢性腎臓病」～】

講師 戸井田 達典 (といだ たつり) 薬学部薬学科 准教授

慢性腎臓病(CKD)とは慢性に経過するすべての腎臓病を指します。あまり耳にしないかもしれませんが、実は患者さんは1,330万人(20歳以上の成人の8人に1人)いると考えられ、新たな国民病ともいわれています。慢性腎臓病(CKD)は生活習慣病との関連が深く、誰でもかかる可能性があります。初期には自覚症状がほとんどなく、自然に良くなることはない病気です。慢性腎臓病(CKD)を早期発見し、早期に治療することや、正しい食事療法や治療が重症化を予防するうえで重要です。

= 募 集 要 項 =

2023年度九州保健福祉大学公開講座の全体テーマは、「大学からの情報発信2023～薬学部から地域の方々へ～」で、全6回シリーズです。6回まとめた募集ですが、都合のつかない講座は受講されなくても構いません。受講を希望される方は下記により事前にお申し込みください。

～応募方法～ ※いずれかの方法でお申込ください。

- ①郵 送：〒882-8508 宮崎県延岡市吉野町 1714-1 九州保健福祉大学
公開講座委員会事務局宛に、往復はがきで「郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号」を記入し申し込んでください。
（復）はがきにも返信宛先を書いてください。
- ②FAX：0982-23-5530
九州保健福祉大学 公開講座委員会事務局宛
「郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号」をご記入の上、
上記FAX番号に送信してください。
- ③E-mail：kuhw-event@office.jei.ac.jp
※ 必ず件名に「公開講座申込」と記載してください。
「郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号」をご記入の上、
上記アドレスに送信してください。
- ④申込フォーム：左記 QR コードを読み取り、必要事項を入力し、送信してください。



・ 申込締切 7月10日（月）必着でお願い致します。

～受講について～

- ・ 定 員 定員は200名です。※高齢者（65歳以上）の方を主に対象としていますが、それ以外の年齢の方も受講できます。
- ・ 受 講 料 大人2,000円、高校生以下500円
全6回シリーズの受講料で、受講回数に関係なく定額です。
なお、受講料には資料代を含んでいます。
受講料は初回の公開講座実施日（7月22日）に徴収します。
- ・ 受講連絡 申込受付後、「公開講座に関するご案内」を送付します。
- ・ 修了証書 全講座を受講された方に「修了証書」を最終日に授与します。
- ・ 応 募 先 〒882-8508 延岡市吉野町 1714-1 九州保健福祉大学庶務課内
公開講座委員会事務局 宛
TEL 0982-23-5555（代）
- ・ 講座会場 九州保健福祉大学 F講義棟
- ・ 駐 車 場 ※駐車場がありますので、ご利用ください。

～九州保健福祉大学附属図書館利用について～

本学では附属図書館を市民の方に開放しておりますのでご利用ください。
開館時間：平日9：00～20：00、土日祝日9：00～18：00
（年末年始・8月中旬一定期間、学内行事により臨時閉館することもあります）